

# 木の図書館スタッフが選ぶ1冊！

『キミは知らない』大崎梢/著 幻冬舎 刊 2011

亡き父の手帳を渡した直後に、突然姿を消した津田先生。高校2年の水島悠奈は憧れの先生を追いかけて、因習残る田舎町へ向かいます。そこで次々に降りかかってくる事件は、研究者だった父が遺した謎や、悠奈の出生の秘密に関係しているようで……。

ページをめくるたびに、だれが敵で、だれが味方かわからない、ハラハラドキドキの展開が待っています。一気に読み必至！津田先生のカッコよさにも注目ですよ。

オ



P.N.くらっち

流山市には木の図書館と同じく、YAコーナーが設置された図書館があります。このコーナーでは他館所蔵のおすすめYA本を紹介！気になったら予約をして、読んでみてくださいね。

## ロードス島戦記 灰色の魔女

水野良/著 安田均/原案 KADOKAWA 2013

913.6

ミズ/

ライトノベルの金字塔ともいえる作品の新装、第一作目。武者修行に出た血気盛んな少年パーンは、旅の道中で魔女の企みを知る。彼は仲間と共にロードスを巡る戦いへと巻き込まれていく……。

剣と魔法の世界を舞台にした冒険譚にドキドキわくわく。年月が経っても色褪せない面白さがあります！ファンタジー小説が好きな方には読んでもらいたい作品です。



## それいけ、ながれやま YA！

## 編集後記

今回は『日本を感じる本』に焦点を当てて、特集を組んでみました。様々な「和」が見付かり、改めて日本の奥深さを感じる事が出来ましたよ。オススメの「和」がありましたら、YAノートに書いて教えてください。他にも、図書館では、ほんのりあったか、心が温かくなる本を用意してお待ちしております。

